

1. 実況上の着目点

① 日本の南の低気圧は発達しながら北東進。また、日本の東の高気圧縁辺を回る下層暖湿気が低気圧や東日本太平洋側に流れ込み、大気の状態が不安定(伊豆諸島付近では非常に不安定)となっている。伊豆諸島付近では、1時間30mm以上の激しい雨となっており、雷も検知している。東日本太平洋側では、1時間2~5mmの雨量を解析。

② 南西諸島付近では、①の高気圧縁辺を回る下層暖湿気と華北付近に中心を持つ高気圧の縁辺を回る寒気を伴った下層北東風(海面水温 27~28°C(平年差+1~2°C)で下層北東風と海面水温の差が大きい)の影響で、1時間5~20mmの雨量を解析。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、21日朝にかけて発達しながら日本の南を北東進。低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。伊豆諸島では21日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

② 500hPa 5400~5460mのトラフに対応する日本海のシアーラインは、21日朝にかけて東~北日本を通過する。シアーラインに向かって下層暖湿気が流入して上空寒気の影響が加わるため、大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。東日本日本海側では21日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。北日本では21日にかけて、東日本日本海側では21日は、落雷や突風、降ひょう、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。

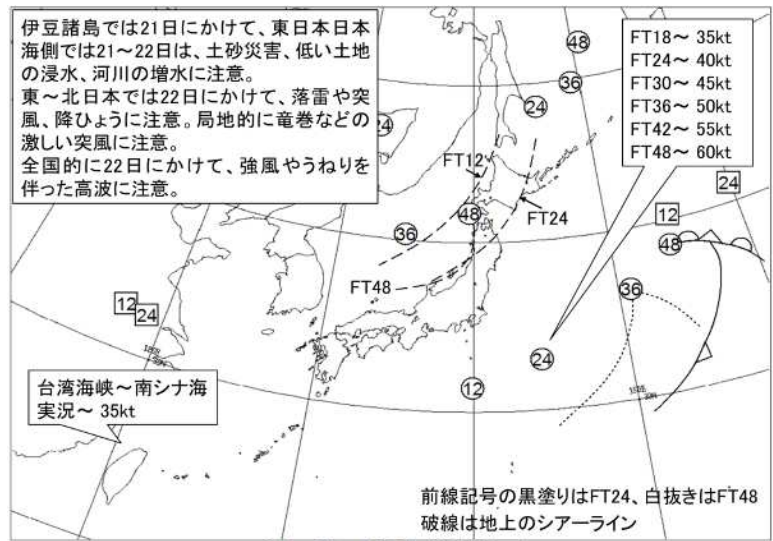
③ 500hPa 5340~5460mのトラフに対応して、21日夜に日本海で低気圧が発生。低気圧は発達しながら北東進し、22日は北日本を通過する。低気圧からのびるシアーラインが22日に東~北日本を通過する。低気圧やシアーラインに向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。東日本日本海側では22日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。北日本では22日は、落雷や突風、降ひょうに注意。

④ 1項①の高気圧縁辺や2項①~③の低気圧やシアーラインの周辺では、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、うねりを伴った波が高くしけとなる所がある。全国的に22日にかけて、強風やうねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時から24時間)：伊豆諸島 100mm。② 波浪(明日まで)：伊豆諸島・沖縄 4、関東・東海・近畿 3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図